令和8年度 新潟県立大学 地域連携推進センター公開講座

AIは脅威か、社会基盤か

― 情報格差・福祉アクセス・合意形成から考える地域社会の未来 ―



見えない判断の向こうに、どんな社会をつくるのか？

AIは、
私たちの暮らしや地域社会に
大きな可能性をもたらす一方で、
情報格差やプライバシー、
福祉アクセスの不平等など、
見えない課題も生み出しています。

本講座では、AIを単なる便利な
ツールとしてではなく、
地域社会を支える
「社会の基盤」として捉え、
多様な視点からその可能性と
課題をともに考えます。

AIと、
ともに生きる
地域の未来を
みんなで考えよう！

AIという第二の地盤

- **データ・AI 基盤** 社会を変える情報とのかかわり方
- **つながる情報** アクセスがスムーズな人
- **支える地域社会** 福祉・教育・地域づくり
- **見えにくい情報** 情報格差やアクセスの課題

2026
12/4 金
13:00〜15:30
（開場 12:30）

会　場 新潟県立大学 4101大講義室
新潟市東区海老ケ瀬471番地

参加費 無料

参加希望の方は、下記申込フォームから
11月30日(月)までに
お申し込みください。

PROGRAM

第1部 13:00〜13:55
基調講演
「DX・AI技術はインフラ整備や暮らしの困りごとを解決できるか?」
― 国土交通省におけるインフラ分野のDX推進を通して ―
講師 国土交通省 北陸地方整備局 企画部 技術開発調整官 山路広明氏

第2部 13:55〜14:25
論点提供 地域の暮らしで見えてくる3つの不安
❶福祉×AI 「届かない支援」
❷哲学・倫理×AI 「見えない判断」
❸地域デザイン×AI 「言語化されない地域知」

第3部 14:35〜15:30
パネルディスカッション・質疑応答
「AI時代の地域社会をどのように設計すべきか?」

※ご登録いただいた個人情報は、公開講座受付処理と今後の催事ご案内に利用します。当日は記録用として、会の様子を録画撮影させていただきます。

新潟県立大学
University of NIIGATA PREFECTURE

主　催 新潟県立大学
後　援 新潟県、新潟市、NHK新潟放送局

問合せ 新潟県立大学 地域連携推進センター
〒950-8680 新潟市東区海老ケ瀬 471 番地　TEL 025-368-8225　Email unpreco@unii.ac.jp

令和8年度 新潟県立大学 地域連携推進センター公開講座

AIは脅威か、社会基盤か

― 情報格差・福祉アクセス・合意形成から考える地域社会の未来 ―

DIGITAL TWIN
BIM / CIM
BUILDING
INFRASTRUCTURE
PEOPLE FLOW
ENVIRONMENT
DATA LAYER

PEOPLE
SOCIETY
REGION
FUTURE

AI SOCIETY
BLUEPRINT

PROGRAM プログラム

AIと、ともに生きる地域の未来を、みんなで考える

第1部 13:00〜13:55

開会・趣旨説明／基調講演



「DX・AI技術はインフラ整備や暮らしの困りごとを解決できるか?」
― 国土交通省におけるインフラ分野のDX推進を通して ―

講師 国土交通省 北陸地方整備局 企画部 技術開発調整官 山路広明氏

国土交通省ではDX技術を最大限活用することによる現場の生産性向上を目指している。DX技術の取り組みや、その技術のひとつであるAI技術などを活用することによりどのような変化が期待できるか、地域社会にも寄与できるかについて国土交通省の取り組みを例に紹介します。

第2部 13:55〜14:25

論点提供　地域の暮らしで見えてくる3つの不安

AIが便利になるほど、見えなくなる不安があります。情報は本当に必要な人に届くのか。AIの判断は、人の経験や価値観をどう変えるのか。地域に眠る知恵は、置き去りにならないのか。本学教員が、福祉・倫理・地域デザインの視点から、AI時代の地域社会に潜む“3つの不安”を明らかにします。





論点

❶福祉×AI　新潟県立大学人間生活学部教授 西村愛
「支援を必要とする人に情報は届いているか?」

❷哲学・倫理×AI　新潟県立大学国際地域学部講師 伊藤潤一郎
「AIは人間の経験と判断をどう変えるか?」

❸地域デザイン×AI　新潟県立大学国際地域学部准教授 関谷浩史
「AIを地域のレジリエンスにどうつなげるか?」



14:25〜14:35

休憩　第二部終了後、10分の休憩をはさみます。

第3部 14:35〜15:30

パネルディスカッション・質疑応答

「AI時代の地域社会をどのように設計すべきか?」

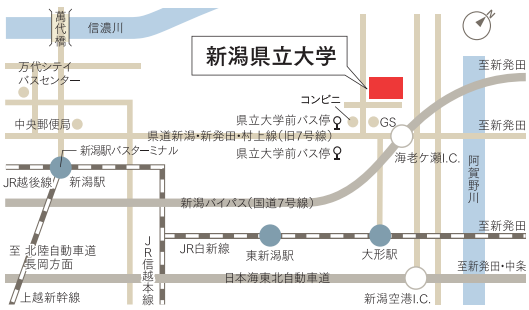
AIが地域の制度やサービスに入り始めた今、「何が便利になり、何が不安になるのか」を決めるのは、行政だけではありません。暮らしの当事者である市民の声が、これからの地域社会を形づくります。本ディスカッションでは、専門家とともに、“AIとともに生きる地域のルール”を県民の目線から考えます。

登壇者	国土交通省 北陸地方整備局 企画部 技術開発調整官	山路広明氏
	新潟市 総務部デジタル行政推進課 課長補佐	大籏裕一郎氏
	新潟県立大学地域連携推進センター センター長	新井洋史
コーディネーター	新潟県立大学地域連携推進センター 副センター長	関谷浩史



「AIと、ともに生きる地域の未来を、みんなで考える」

登壇者に直接質問できる時間です。AIと地域の未来について、自由に声を届けてください。



アクセスマップ　ご来場の際は、公共交通機関をご利用願います。

- 新潟駅バスターミナル2番のりばから「大形線」に乗車
  (所要時間約25分／片道380円)、「県立大学前」下車、徒歩3分
  ※「津島屋」行きに乗車の場合は「大形本町」下車、徒歩8分
  ※最新情報は新潟交通のウェブサイトをご確認ください。
- JR白新線「大形駅」下車（所要時間約10分／片道200円)、徒歩約15分
- JR新潟駅からタクシーで約20分

新潟県立大学 University of NIIGATA PREFECTURE
〒950-8680 新潟市東区海老ケ瀬471番地
地域連携推進センター／TEL：025-368-8225　E-mail：unpreco@unii.ac.jp